

2014年3月期 第1四半期業績概要

2013年 8月1日

アンリツ株式会社
代表取締役社長 橋本 裕一



東証第1部:6754
<http://www.anritsu.com>



注 記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目次

I. 2014年3月期 第1四半期 業績概要

I-1. 事業概要

I-2. 連結決算概要

I-3. 2014年3月期 通期見通し

II. 計測事業の成長ドライバー

Appendix

I -1. 事業概要

計測事業

開発・製造・建設・保守用

- ▶ モバイル市場：LTE, 3G
- ▶ ネットワーク・インフラ市場：有線・無線NW
- ▶ エレクトロニクス市場：電子部品、無線設備



産業機械事業

- ▶ 食の安全・安心
- ▶ X線異物検出機
- ▶ 重量選別機



その他

- ▶ IPネットワーク機器
- ▶ 光デバイス



(セグメント別売上比率)

2013年3月期 実績(連結)：947億円

計測 75%			産業機械 15%	その他 10%
モバイル 50%	ネットワーク・インフラ 30%	エレクトロニクス 20%		

(計測事業 地域別売上比率)

日本 25%	アジア、パシフィック 30%	米州 30%	EMEA 15%
-----------	-------------------	-----------	-------------

I -2. 連結決算概要 - 事業別状況 -

モバイルブロードバンドサービスを成長ドライバーとして
計測事業が堅調に推移

セグメント	2014年3月期第1四半期(4月～6月)の状況
計測	<ul style="list-style-type: none">・モバイル:LTE開発用、スマホ製造用需要が堅調・ネットワーク・インフラ:基地局整備の投資が堅調・エレクトロニクス:顧客の投資抑制傾向が継続
	<ul style="list-style-type: none">・日本:モバイル関連投資が大幅に減速・アジア:製造用・開発用のモバイル関連が堅調・米州:スマホ開発・基地局整備の投資が牽引
産業機械	総じて堅調に推移

I -2. 連結決算概要 - 業績サマリー -

(単位:億円)

	前第1四半期 (4-6月)実績	当第1四半期 (4-6月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
受注高	242	253	11	5%
売上高	216	224	8	4%
営業利益	40	25	△ 15	△ 38%
税引前利益	35*	27	△ 8	△ 24%
当期利益	25	16	△ 9	△ 36%
当期包括利益	17	27	10	62%
フリーキャッシュフロー	41	29	△ 12	△ 28%

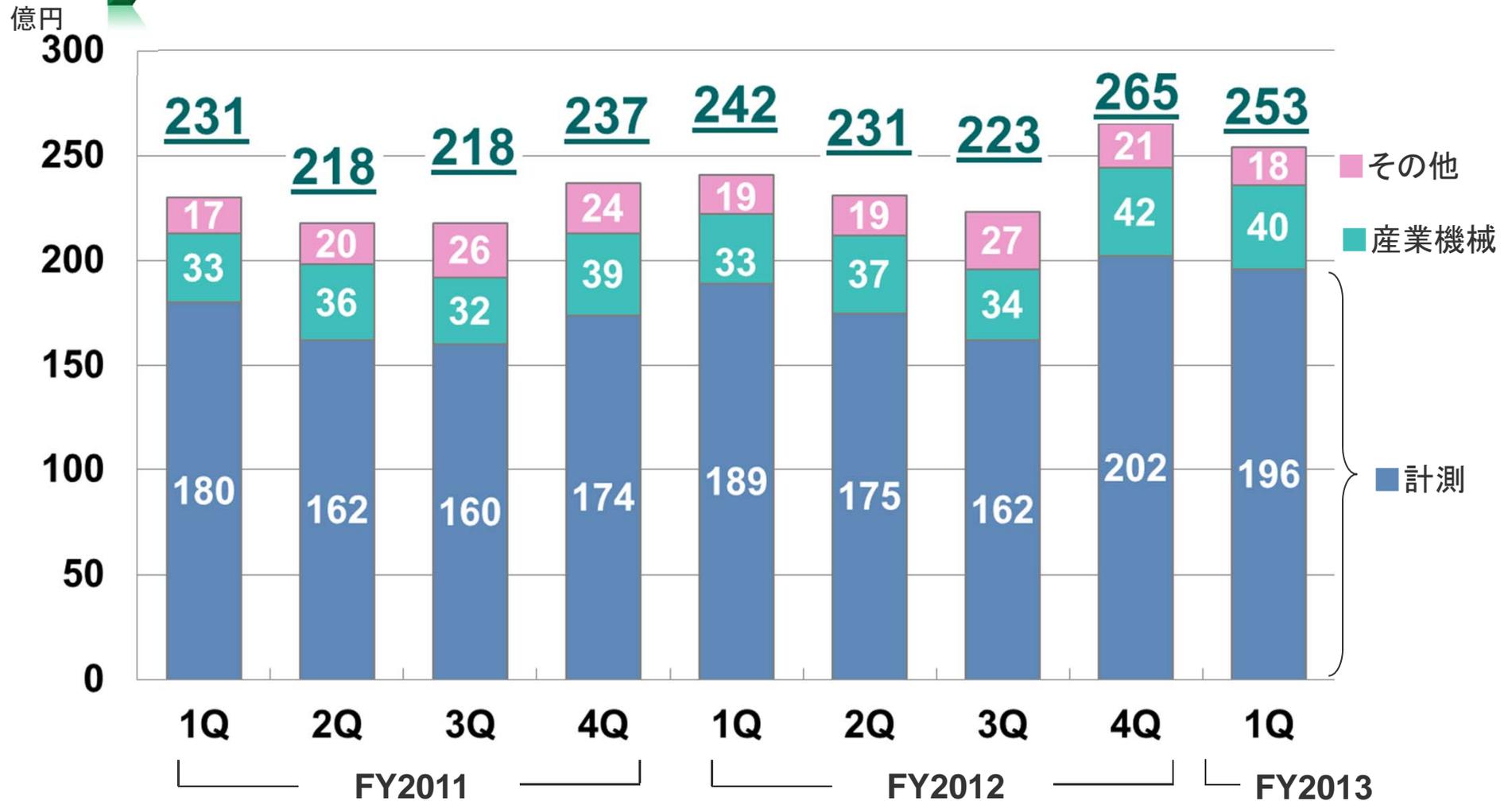
(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

* 前第1四半期の数値はIAS第19号の改訂に伴い、変更後の会計方針を遡及的に適用し修正再表示しています。
(修正前数値:税引前利益36億円)

I -2. 連結決算概要 - 受注高推移 -



計測事業・産業機械事業ともに前年同四半期に対し増加



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

I -2. 連結決算概要 - 事業別売上高・営業利益 -

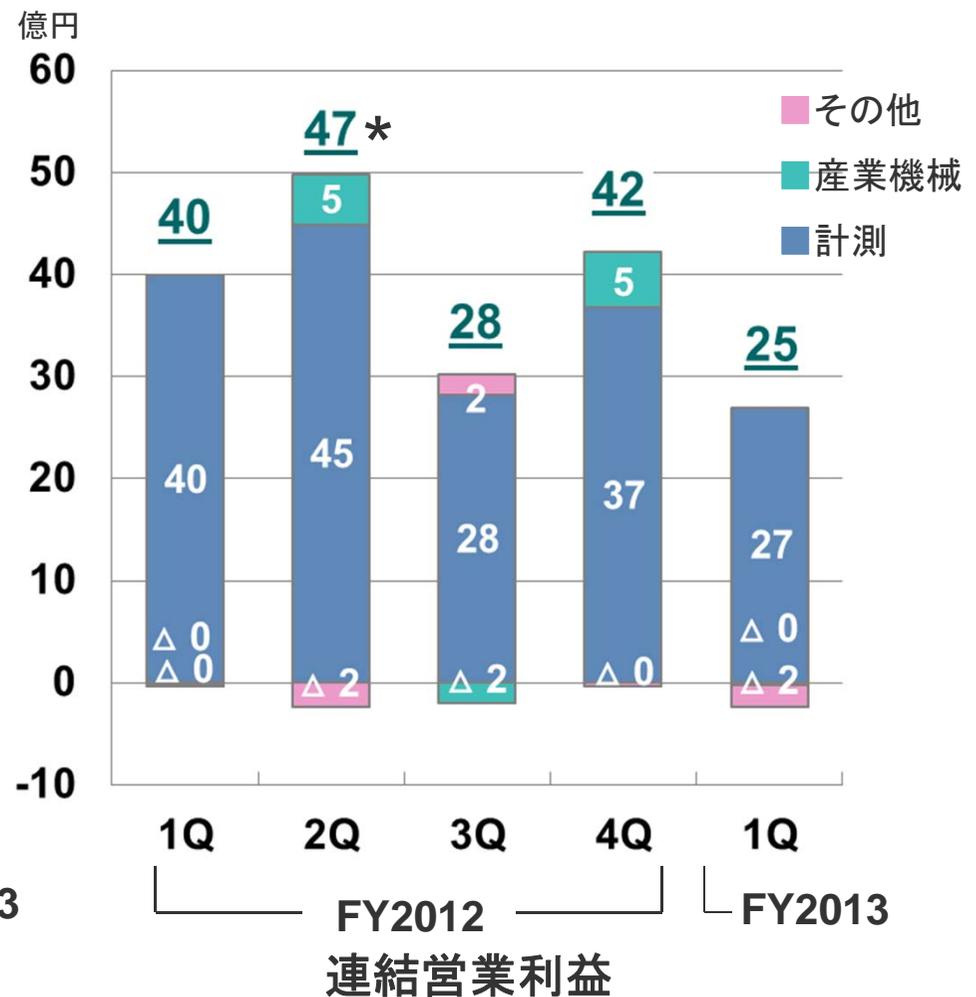
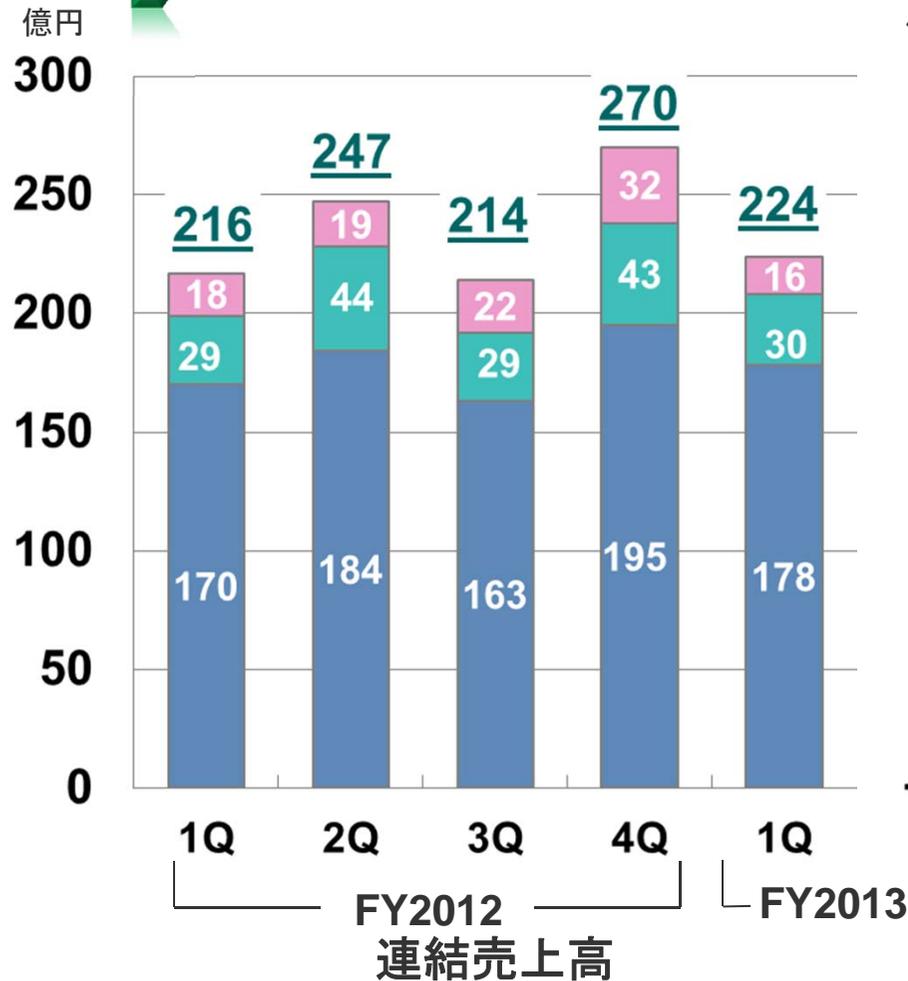
(単位: 億円)

		前第1四半期 (4-6月)実績	当第1四半期 (4-6月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
計測	売上高	170	178	8	5%
	営業利益	40	27	△ 13	△ 32%
産業機械	売上高	29	30	1	5%
	営業利益	△ 0	△ 0	0	-
その他 (含: 内部消去)	売上高	18	16	△ 2	△ 10%
	営業利益	△ 0	△ 2	△ 2	-
合計	売上高	216	224	8	4%
	営業利益	40	25	△ 15	△ 38%

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

I -2. 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業利益 -

▶ 通期計画に対する第1四半期の進捗: 売上高22%、営業利益15%

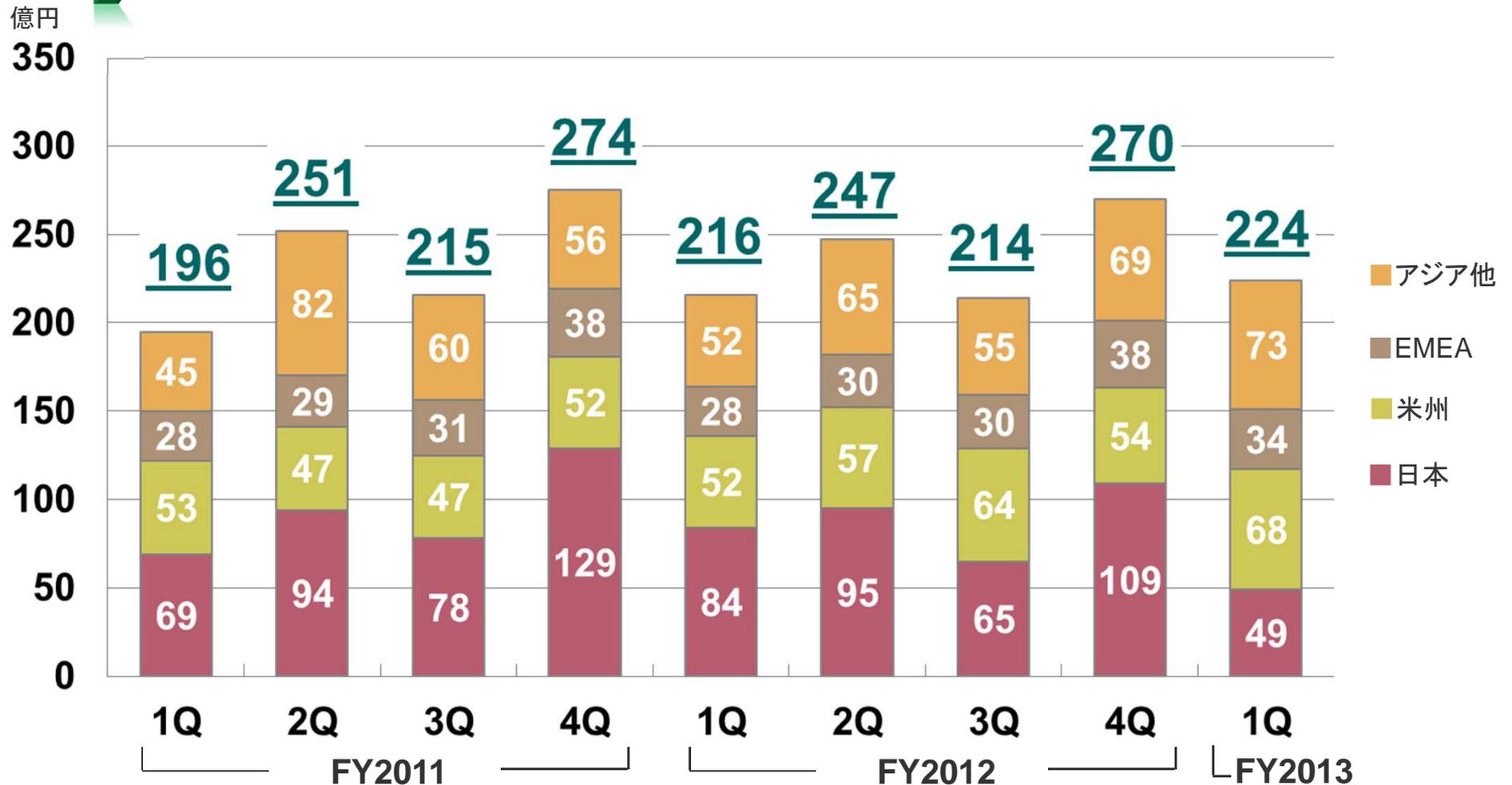


(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

* IAS第19号の改訂に伴い、変更後の会計方針を遡及的に適用し修正再表示しています。(修正前数値: 2Q連結営業利益48億円)

I -2. 連結決算概要 - 地域別売上高推移 -

▶ アジア・米州の計測事業が牽引



(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

I -2. 連結決算概要 - キャッシュフロー -

内訳

単位:億円 △減少

▶ 着実にキャッシュフローを創出

FY2013 Q1

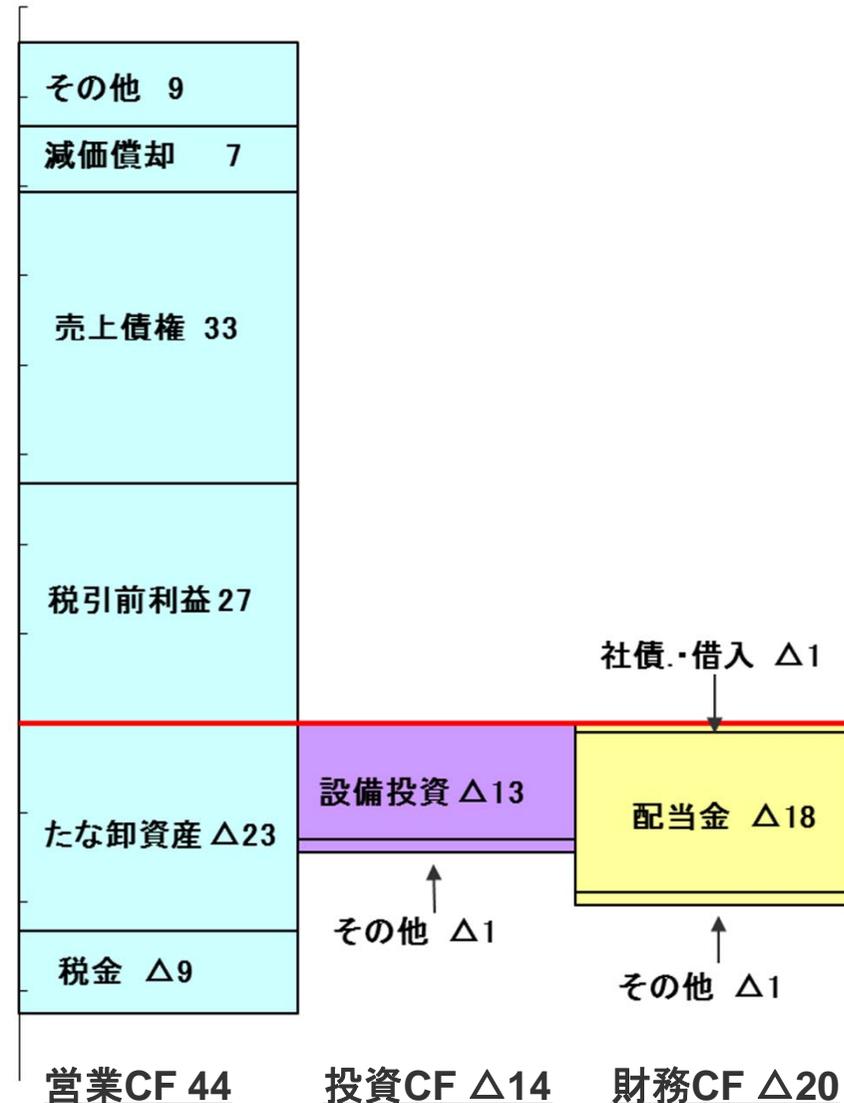
- ①営業CF: 44億円
- ②投資CF: △ 14億円
- ③財務CF: △ 20億円

フリーキャッシュフロー
(①+②): 29億円

現金同等物期末残高
391億円

有利子負債高
193億円

(注)値はそれぞれの欄で四捨五入



I -3. 2014年3月期 通期見通し(連結)

4月開示より変更なし

(単位：億円)

		2013/3期		2014/3期	
		前期実績	通期予想	前期比 増減額	前期比 増減率(%)
売上高		947	1,020	73	8%
営業利益		157*	170	13	8%
税引前利益		161*	165	4	2%
当期利益		139	115	△ 24	△17%
計測	売上高	712	770	58	8%
	営業利益	150	155	5	3%
産業機械	売上高	144	155	11	7%
	営業利益	8	10	2	23%
その他	売上高	90	95	5	5%
	営業利益	△ 1	5	6	-

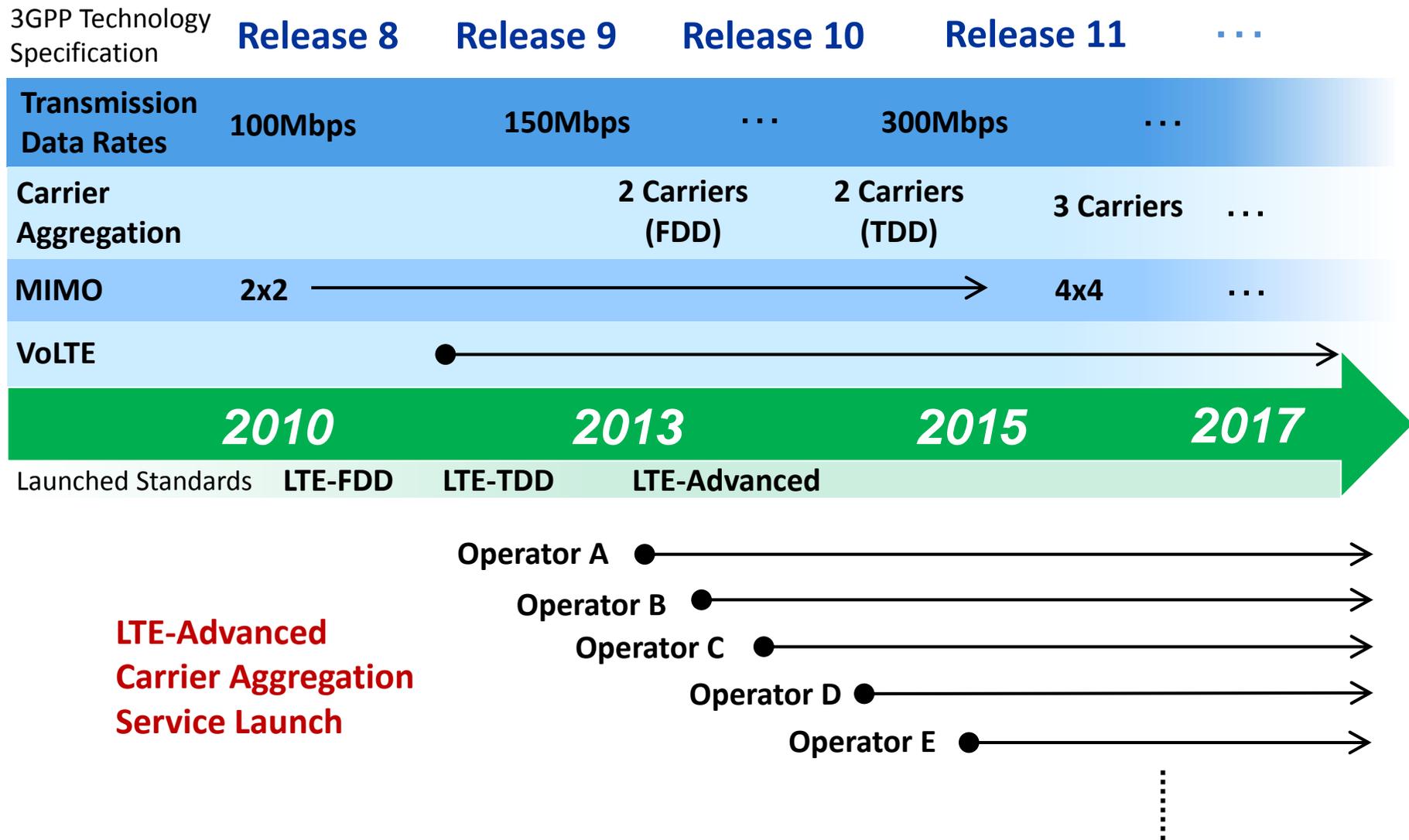
(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

(参考) 想定為替レート: 1米ドル=90円
1ユーロ=120円

* 前期実績の数値はIAS第19号の改訂に伴い、変更後の会計方針を遡及的に適用し修正再表示しています。
(修正前数値: 営業利益158億円、税引前利益162億円)

Ⅱ. 計測事業の成長ドライバー

Ⅱ. LTE技術の進化と実用化のロードマップ



Ⅱ. TDD-LTEサービスの本格スタート

世界で18事業者が商用サービスを開始、41事業者が導入を計画

■ 中国市場の動向

- 2013年中にTDD-LTEライセンス認可の見通し
- チャイナ・モバイルがTDD-LTE基地局20万基の入札開始、国内約100都市・人口カバー5億人のLTE網の構築を計画
- スマートフォンの中国国内出荷量は前年同期比2.3倍(1-5月:約1.8億台)、TD-SCDMA端末は2.7倍(同:約0.8億台)、2013年の需要は3.2億台の見通し(世界シェア約30%)

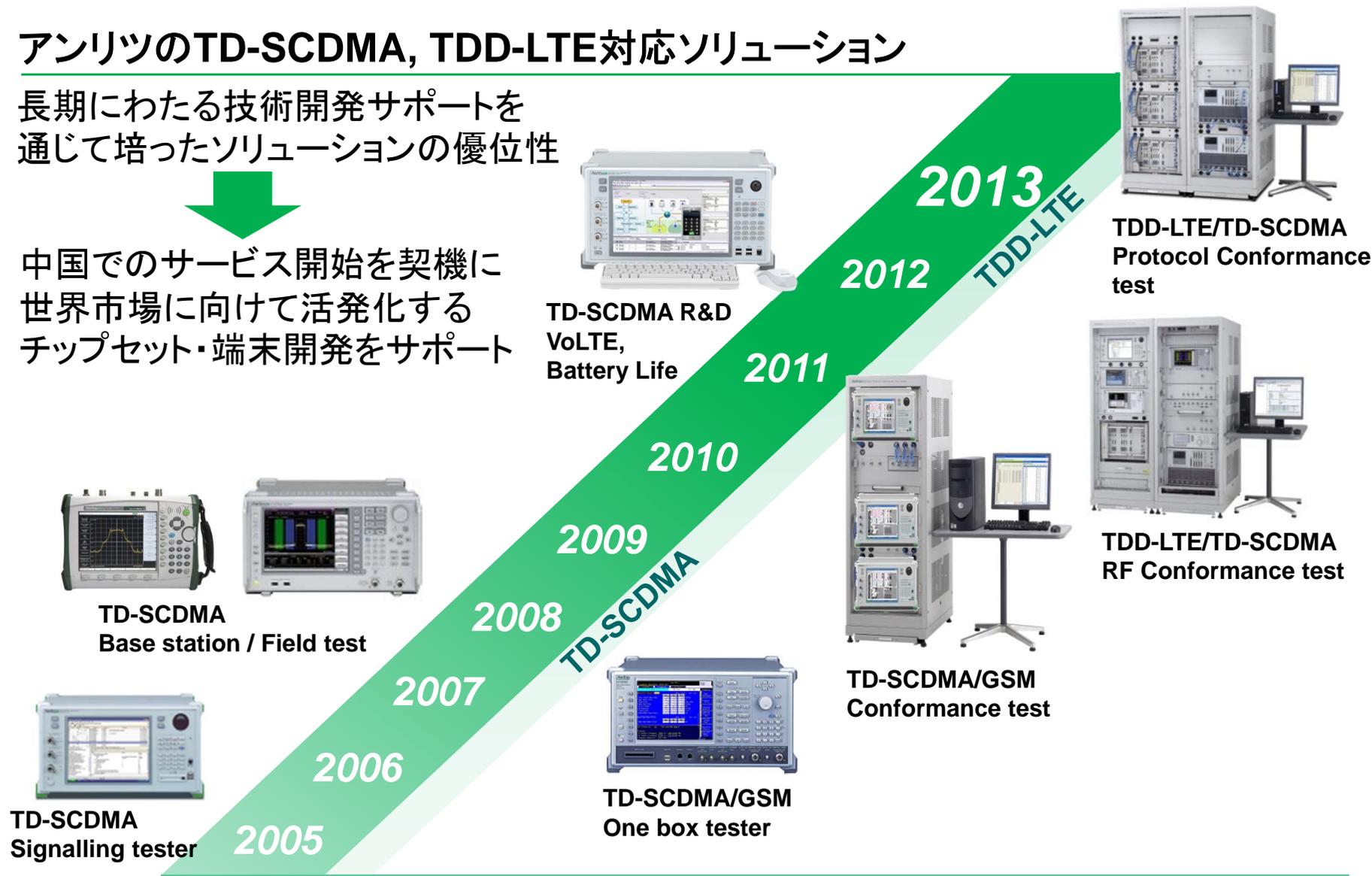
II. TDD-LTEは中国での導入を機に世界で進展

アンリツのTD-SCDMA, TDD-LTE対応ソリューション

長期にわたる技術開発サポートを通じて培ったソリューションの優位性



中国でのサービス開始を契機に世界市場に向けて活発化するチップセット・端末開発をサポート



Ⅱ. LTE-Advanced(LTE-A)関連市場の動向

世界12カ国17事業者がサービス導入を計画・準備



■ 2013年6月、SKテレコム(韓国)がキャリア・アグリゲーション技術を採用したLTE-A商用サービス開始

■ 日本:2015年に商用化見通し

➤ NTTドコモ、ソフトバンク、KDDIが実証実験を開始

Ⅱ. アンリツのLTE-Advancedソリューションへの取り組み

コア開発、規格適合試験、オペレータ受入試験、端末製造の各分野をサポートするソリューションを拡充

- LTE-Advancedにおけるキャリア・アグリゲーション機能のRF規格適合試験において、業界で初めてPTCRB（北米の認証機関）の認証を取得



Chipset
Protocol



RF Parametric
Production



Conformance



Carrier
Acceptance

2012

2013

(Appendix)

郡山第二事業所、産業機械上海工場を開設(2013年7月)



郡山第二事業所



産業機械事業 上海工場

Anritsu

Discover What's Possible™